

東洋大学附属姫路高等学校

プロジェクト

トーヨー

地域活性部 PROJECT TOYO

[兵庫県：活動期間3年]

高校生による自然活用型社会を目指した活動

耕作放棄地を借りて伝統野菜を栽培

持続可能な社会の実現と地域の住環境の保全や活性化、高校生の地域愛の育成のために、地元の耕作放棄地を借りて伝統野菜である「姫路若菜」を栽培しています。栽培した野菜を使って姫路の伝統料理を地域の方々と研究し、料理教室を行う中で、世代間交流を行うとともに地域の活性化に貢献しています。



種まきの様子



姫路若菜収穫の様子

伝統野菜を周知するため 特産品研究と商品開発

伝統野菜を多くの人に知ってもらうため、加工品会社と連携し、収穫した農作物と姫路産の舌平目と雪乃豚で加工品を作りました。それらは、姫路市のふるさと納税返礼品となっています。さらに、栽培した苺を使って地元の工房と連携して加工品を新たに開発。栽培した農作物を無駄なく使うために、次々と商品を考案しています。



特産品開発 記者発表の様子



栽培したイチゴをアイスに

害獣である鹿を地域資源に

農産物栽培の中で鹿害を体験。その体験から、鹿肉を地域資源にしようと、猟友会と連携し害獣である鹿の解体を体験し、鹿肉を地域の名産品として認知してもらうため、手軽に食べることでできる加工品を開発しました。



鹿肉の缶詰発表会

鹿の解体体験



今回の受賞は、私たちの励みになりました。連携くださった方々にも感謝しています。今後は、さらに地域との繋がりを深め、地域の活性化のために活動を発展させたいと思います。ありがとうございました。

東洋大学附属姫路高等学校
地域活性部 PROJECT TOYO